

<白金標準、目先の調整安で 4300 円の買い場の提供か・・・>



(出所：オアシス)

中国不動産開発会社恒大集団は、香港高等法院での清算申し立ての審理を担当判事が12月4日まで延期を決め、中国最大の再編計画を軌道に戻す最後のチャンスを得た事になる。また米国ではUAWとビッグ3の労使交渉が最後のGM（ゼネラルモーター）と暫定合意を行なった事から6週間続いたストライキは終結している。そのため中国の不動産開発会社の清算リスクや米国自動車産業におけるサプライチェーンの混乱リスクが後退し、NY白金は951ドル、白金標準先物も4504円まで高値を試している。しかし欧州のドイツ製造業PMIやユーロ圏製造業PMIが低下し、ユーロ圏GDP・速報値も-0.1%とマイナス成長を示すなど、高値から4365円まで下げている。特に中東情勢で1ヶ月間の経過で大きく買われた金価格の上昇が止まり、目先買われ過ぎた反動安に警戒が強まりを見せるなど、白金標準先物も金価格の連動安に注意が必要と思える。また円建て価格に恩恵をもたらしていた円安の動きも先週のパウエルFRB議長の発言で金利のピークの思惑が強まっているだけに、円高の動きが重なると、4300円を試す値動きに注意が必要と思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDの上昇が止まり、シグナルは上昇している。またRCIでも短期が切り下げだし長期は上昇を続けており、目先の調整安で10日移動平均線が位置する4351円を試す可能性は強まると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,330,000 円(2023 年 11 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 11 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>